

中井 昭夫(なかい・あきお)

兵庫県立リハビリテーション中央病院
子どもの睡眠と発達医療センター
副センター長 兼 神経小児科部長・小児科部長・小児精神科部長



医学博士、小児科専門医、臨床発達心理士

1986年 福井医科大学卒業。1991年 同大学院博士課程修了。福井医科大学救急部助手、小児科助手、福井県こども療育センター主任医長、福井大学子どものこころの発達研究センター特命准教授 兼 福井大学医学部附属病院「子どものこころ診療部」特命准教授等を経て、2014年より現職。この間、1998年から2年間カナダ McGill 大学モントリオール神経研究所 Brain Imaging Centre に留学し、脳内物質セロトニンとそのPETによる画像化に関する研究に従事。

その他の資格: 日本小児科医会認定「子どもの心相談医」、日本小児精神神経学会認定医、日本臨床薬理学会特別指導医等。

学会活動等: 日本赤ちゃん学会理事・「ベビーサイエンス」編集委員長、日本子ども学会理事、日本発達神経科学学会理事、日本小児神経学会評議員・学会誌「脳と発達」編集委員・国際推進化委員・長期計画委員、日本小児精神神経学会代議員、日本小児科学会 英文学会誌 Pediatric International 編集委員(発達行動小児科学担当委員)、国際発達性協調運動障害研究学会日本代表委員、アジア・オセアニア小児神経学会終身会員等。

2015年には第12回日本子ども学会議(日本子ども学会学術集会)の大会長、2017年4月に開催される第1回日本DCD学会の大会長を務める。

発達障害児・者とその保護者らとともにNPO 法人 AOZORA 福井を設立し、その理事も務めている。

主な著書:『プライマリケアで使える子どもの発達と心の問題への対応 Q&A～健診から思春期までの評価と指導の実際～』(総合医学社 2012)、『ADHD: Cognitive Symptoms, Genetics and Treatment Outcomes』(Nova Science Publishers 2012)、『子どものPTSD: 診断と治療』(診断と治療社 2014)、『発達障害児支援とアセスメントのガイドライン』(金子書房 2014)、『いま、小児科医に必要な実践臨床小児睡眠医学』(診断と治療社 2015)、『データで読み解く発達障害』(中山書店 2016)、『児童心理学の進歩 55』(金子書房 2016)、『発達障害のリハビリテーション - 多職種アプローチの実際 -』(医学書院 印刷中)、『子どものリハビリテーション医学第3版-発達支援と療育-』(医学書院 印刷中)、『発達性協調運動障害～不器用さのある子どもの理解と支援～(仮)』(金子書房 印刷中)など多数。